

# JHL NEWS

No.18

2012年3月12日

●発行●  
日本ハンドボールリーグ委員会  
委員長・高村 誠一  
東京都渋谷区神南1-1-1  
電話 03-3481-2494



タイトルを奪還した大同特殊鋼・加藤(左)オムロン・東濱

## 大同、オムロンが激闘を制して王座を奪回

### ～第36回日本ハンドボールリーグ・プレーオフ～

第36回日本ハンドボールリーグ・プレーオフは3月10、11日に駒沢体育館にレギュラーシーズンの男子上位4チーム、女子3チームが進出して行われ、男子決勝は大同特殊鋼が大崎電気との延長戦を制して2年ぶり15回目の栄冠を獲得、女子はオムロンが北國銀行に競り勝って3年ぶり15回目の優勝を飾った。

男子決勝はレギュラーシーズン1位の大崎と3位の大同の対決。大同・棚原のカットインシュートで幕を開けた試合は、続けて加藤、武田の得点で大同が3-0と好スタートを切ったが、すぐさま大崎も東長濱が2本の7mスローとカットインで連続得点を奪い、8分4-4と同点に追いついた。その後はともに点を取り合う攻防が続き、GK陣のフィンセーブの応酬もあって16-16の同点で前半終了。後半に入り、7分過ぎから大崎が森、豊田らの活躍で何度か2点差までリードを奪うが、大同は加藤、野村らで追いつき、勝負の行方は延長に持ち込まれた。

延長前半、大崎が豊田のミドルシュートで先行するが、大同は末松のサイドシュートで応戦、両チームの激しい攻防戦に会場はヒートアップ。そして、クライマックスはこのあとに待っていた。延長前半の終了間際に末松のロングシュートで32-31と勝ち越した大同が、後半出だしに岸川、加藤の連続得点で3点リードを奪うと、その後も大崎のフリーシュートを大同GK陣が再三に渡ってシャットアウト、4分には末松が駄目押しとなるステップシュートを決めて

大崎を突き放し、歓喜のフィナーレへとなだれ込んだ。

女子決勝はレギュラーシーズン1位の北國と2位のオムロンが火花を散らした。試合は勝連で先制したオムロンが4分3-1とリードしたのに対し、北國も負けじと石野の連打、さらに上町のロングで逆転に成功。一方のオムロンも東濱のシュートで9分4-4とした。その後は両GKの好守で一進一退の攻防を展開。北國は19分7-7の場面でタイムアウトを要求するも、逆にオムロンは高田と勝連のサイドシュートで9-7とリードして前半を終えた。

後半はオムロンのCPが1人少ない状態からのスタート。その苦しい中でオムロンはGK藤間のフィンセーブでピンチをしのいだ。北國は2分過ぎに横嶋のポストシュート、八十島の速攻で9-9の同点に並んだが、このあとオムロンの手堅い守りを攻めあぐみ、なかなか得点に結びつけることができなかった。一方のオムロンは金且妍の得点で先行すると勝連のサイドシュートで追い打ちをかけた。これでリズムをつかんだオムロンは、東濱のロングシュートや勝連の速攻などで快調に飛ばし、17分15-10と優位に立った。北國はタイムアウトを要求して挽回を図ったが、オムロンに退場者が出たチャンスにミスが重なるなどでなかなか得点に結びつかず、逆に高田らで加点したオムロンが5点リードをキープ。終盤に入って北國はオムロン・東濱の退場を機に上町の連打などで2点差まで詰め寄ったが、終了間際にオムロン・金がポストからのループシュートを決めたところで試合終了。オムロンが18-15と3点差をつけて3年ぶりの栄冠をものにした。

## 大崎、大同が競り勝って決勝へ 男子準決勝



①大崎電気・横地 ②北國銀行・樋口

男子準決勝第1試合は、レギュラーシーズン1位の大崎電気と同4位の湧永製菓の対戦。開始7分、2-2の同点の場面で、大崎・東長濱の7mスローが湧永GK志水の顔を直撃。そのプレーで東長濱が失格となり、大崎は大きな痛手を負っての戦いとなった。それでも、大崎はこのアクシデントでより一体感が強まり、コートに飛び出す選手がしっかりと活躍。大崎は東長濱の穴を感じさせず、15-14と1点リードで後半に向かった。後半、湧永も好調・志水の堅守や大黒柱・東長濱の活躍で簡単には引き下がらず、勝負の行方は終盤に。18分過ぎ、23分過ぎと2度の連打を繰り返した大崎が、残り2分を切って27-25と2点リード。湧永も諦めず、残り1分26秒、今井のポストシュートで1点差に迫ったが、大崎は残り19秒、小澤のサイドシュートで接戦にピリオドを打ち、2連覇に王手をかけた。

準決勝第2試合は、レギュラーシーズン2位のトヨタ車体と同3位の大同特殊鋼が激突。昨年末の全日本総合選手権でも決勝で優勝を争った両者の対戦は白熱し、車体は坪根、木下、大同は久保のGK陣の好守もあり、最大点差は3点という接戦のまま、試合は終盤に入った。後半19分、大同は23-24と1点リードを許した場面から、地引のカットインや武田の強打などで4連取。残り5分を切って、27-24と大同が一歩抜け出した。

それでも初優勝に燃える車体は粘り、残り3分を切ってから富田、高智の連打で27-28と1点差に迫り、残り30秒には門山が執念のミドルシュートを決めて、28-28の同点。大同は武田の失格でCP5人となっており、このまま延長が濃厚と思われたが、大同は車体ディフェンスのわずかな迷いをつき、残り5秒、サイドからのシュートに持ち込んだ山城が勝ち越しゴール。劇的な幕切れで、大同が2年ぶりの決勝進出を決めた。

3 10 ( )		
24 ( $\begin{matrix} 10-10 \\ 14-7 \end{matrix} $ ) 17		
<2/2>		<0/2>
1/ 1		4/ 8 0/2
0/ 0		0/ 0
3/ 3		2/ 3
0/ 0		5/ 9
2/2		0/ 0
4/ 7		0/ 0
3/ 6		0/ 0
0/ 0		0/ 0
0/ 2		0/ 0
0/ 1		0/ 0
		1/ 3
3/ 4		0/ 0
0/ 0		0/ 0
0/ 0		2/ 5
6/10		3/ 7
2/ 2		0/ 2
2/2 22/36	5(FPP) 4	17/37 0/2 1060

3 10 ( )		
28 ( $\begin{matrix} 15-14 \\ 13-12 \end{matrix} $ ) 26		
<0/1>		
5/ 7		0/ 0
1/2 1/ 3		0/ 0
1/1 2/ 5		1/ 1
0/2 1/ 2		0/ 0
3/ 3		0/ 0
0/ 0		3/ 7
1/ 2		1/ 2
2/ 2		1/ 5 2/2
3/ 4		2/ 6
0/ 0		0/ 1
0/ 0		3/ 3
4/ 4		
1/ 1		2/ 5
<1/3>		0/ 3
3/ 7		10/14 1/2
2/5 26/40	16(FPP) 11	23/47 3/4 1541

3 10 ( )		
29 ( $\begin{matrix} 14-13 \\ 15-15 \end{matrix} $ ) 28		
<0/1>		
4/ 5		0/ 0
0/ 4		2/ 4
8/12		1/ 2
0/ 0		6/ 7
0/ 0		1/ 1
1/ 3		1/ 1
7/10		2/ 4
2/ 7		4/ 6
		3/ 7
4/ 4		
0/ 0		0/ 2
3/ 4		3/ 4
		1/ 3
0/ 0		
0/ 0		4/ 9
0/0 29/49	20(FPP) 4	28/50 0/0 1734



ソニーセミコンダクタ・儀間

### オムロンがソニーを突き放す 女子準決勝

女子の準決勝は、レギュラーシーズン最終日にプレーオフ出場権を決めた3位ソニーセミコンダクタが2位オムロンに挑戦。

前半はオムロンが東濱、ソニーが山野を中心に、双方が2度の3連取を披露して譲らず、10-10の同点で前半を終了した。

試合が動いたのは後半立ち上がり。1分、オムロンは守護神・藤間がソニー・山野の7mスローを止めると、石立、藤井、東濱の3連打で勢いづき、4分には再び藤間が山野の7mスローをシャットアウト。オムロンは8分にも勝連の速攻で14-10とリードを4点に広げた。

一歩抜け出したオムロンは、堅いディフェンスで優位をキープし、19分、18-15の場面から25分過ぎにかけ、エース藤井を中心に駄目押しの5連打。ソニーを突き放し、3年ぶりの決勝進出を果たした。



MVP



㊸トヨタ車体・銘苅 ㊹湧永製薬・古家



㊺大同特殊鋼・末松 ㊻オムロン・藤間

#### 男子・プレーオフ成績

大崎電気 (通算1位)	28	
湧永製薬 (通算4位)	26	32 優勝 大同特殊鋼
大同特殊鋼 (通算3位)	29	36 (2年ぶり15回目)
トヨタ車体 (通算2位)	28	

#### 女子・プレーオフ成績

北國銀行 (通算1位)	15	優勝 オムロン
オムロン (通算2位)	24	18 (3年ぶり15回目)
ソニーセミコンダクタ (通算3位)	17	

#### 〈男子順位〉

- 1位 大同特殊鋼
- 2位 大崎電気
- 3位 トヨタ車体
- 4位 湧永製薬

#### 〈女子順位〉

- 1位 オムロン
- 2位 北國銀行
- 3位 ソニーセミコンダクタ

### 第36回 日本リーグ表彰一覧

#### 男子

- ・最高殊勲選手賞 末松 誠 (大同特殊鋼) 2回目
- ・殊勲選手賞 宮崎 大輔 (大崎電気) 3回目
- ・最優秀監督賞 清水 博之 (大同特殊鋼) 4回目

#### 女子

- 藤間おかり (オムロン) 初
- 田代ひろみ (北國銀行) 初
- 黄 慶泳 (オムロン) 5回目

### JHLジュニアカップ決勝

#### 〈女子〉

琉球コロンジュニア 16 (8-4) 13 北陸電力ジュニア

#### 〈男子〉

琉球コロンジュニア 21 (11-11) 19 北陸電力ジュニア

